

第 9 3 5 回

定例教育委員会会議録

日 時 令和 6 年 1 2 月 2 0 日（金） 1 6 : 3 0 ～

場 所 益田市役所第一会議室

益田市教育委員会

第 9 3 5 回 教育委員会定例会

招集年月日 令和 6 年 1 2 月 2 0 日（金） 1 6 : 3 0 ～

招 集 場 所 益田市役所第一会議室

議 事 日 程

第 1 会議録の承認について

第 2 教育長報告

第 3 議題

議第 1 8 号 教育財産（益田運動公園陸上競技場写真判定装置一式）の取得
について

報第 5 0 号 赤色立体地図の寄贈について

報第 5 1 号 第 5 6 7 回益田市議会定例会一般質問について

報第 5 2 号 令和 6 年度 1 2 月益田市一般会計補正予算について

第 4 その他

（1）情報提供

（2）その他

出席者

教育委員会

教 育 長
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員

領 家 芳 明
大 庭 隆 志
齋 藤 哲 瑯
原 田 笑
山 本 ひとみ

事務局職員

教 育 部 長
教 育 総 務 課 長
学 校 教 育 課 長
学 校 教 育 課 参 事
協 働 の ひ と づ くり 推 進 課 長
文 化 振 興 課 長
教 育 総 務 課 長 補 佐

長 嶺 勝 良
齋 藤 勝 義
田 原 正 紀
杉 原 貴 宏
岡 崎 健 次
田 中 一 史
植 田 拓 也

領家教育長 定刻となりましたので、ただいまから令和6年度第935回益田市教育委員会定例会を開催いたします。
それでは議事に入らせていただきます。

第1 会議録の承認

領家教育長 前回定例会の会議録につきましては、委員の皆様には先ほど承認いただきましたので、ご報告させていただきます。

第2 教育長報告

領家教育長 続いて、議事日程第2、教育長報告に移らせていただきます。
資料は議事日程の次のページをご覧くださいと思います。
私からは、大まかに3点、皆様にお知らせさせていただこうと思っております。

1点目は11月21日に行いました、益田市、そして益田市教育委員会、ウォータースタンド株式会社、この3者によります連携協定締結式のことについてです。先日、地方紙にも記事が載っていたと思うのですが、ウォータースタンド社というところから、カーボンニュートラル推進に向けたプラスチックごみの削減ということをテーマに連携協定を締結することができました。プラスチックごみの削減というのは、ペットボトルを使わずにマイボトルを使おうという運動でございます。市内の自動車教習所さんが既にこのウォータースタンド社と提携を結んでおられ、そうしたことを1つのご縁にして締結となりました。益田市においては夏に熱中症対策で涼しい場所を提供するというのが今年の夏あったと思いますが、その対象施設、EAGAですとか、匹見あるいは美都の分庁舎にこのウォータースタンド社と連携協定をしたウォータースタンドを配置しています。また小学校、中学校にもということでお話をいただきましたので、希望を取らせていただきましたところ数校希望がありましたので、この連携協定に参加させていただくことになりました。

市内では9つの小学校に10基のウォータースタンドを配置するというので、この12月中に工事が完了する予定です。これは、子どもたちが持ってくる水筒が空になったときの給水用ということで、水道水のところにフィルターを通したものになります。市内の9小学校の中で一番大きな吉田小学校にはそのスタンドを2基ということで10基設置するということになりました。

プラスチックごみ削減という意識啓発と併せて熱中症対策にも活用できるのかなということで、進んで手を挙げていただいたところに設置するような形になりました。既に中学校では冷水機のようなものを設置していることが多いようなので、今回は中学校での設置はなく、小学校が中心ということになりました。熱中症対策と環境という2つの側面から導入し、子どもたちや保護者の皆さんにもお知らせしながら啓発を続けていただきたいと考えているところです。

このウォータースタンド社は、今年の6月時点で90以上の自治体とこうした連携協定を結んでおられて、中国地方では岡山市、広島市、広島県の廿日市市などがもう既に結んでおられるんだそうですが、山陰両県では益田市が初めての締結という話を伺ったところでございます。これが1点目です。

2点目は、11月26日です。COOL CHOICEアンバサダー養成事業の成果発表及び認定証交付式ということで、都茂小学校に市長と共に参りました。COOL CHOICEアンバサダーというのは、1年間、外部講師の方たちを招きながら環境教育について学び、その学んだ成果を学習発表会の折に保護者や地域の皆さんに発表する取組です。10年近く前に益田市立吉田小学校で2年間連続で行い、次は吉田南小学校に行き、安田小学校に行き、点々とバトンが移って、昨年、東仙道小学校、それから東仙道小学校からバトンを受けた都茂小学校が今年度取り組んでくださったというような事業です。それを市長と一緒に見せていただきましたが、実際に出前授業をしてくださった講師の方が10年前とほとんど同じメンバーでした。今回は都茂小学校の子どもたちが給食を残すのは悪かどうかという模擬裁判をする、そんな学習劇を勉強しました。子どもたちは、外部講師の方たちからいろいろ学んで、自分たちが給食を残すことが環境維持につながらないということを学んで、いろんな人に啓発してるんだけど、量は少しずつ減ってはいるけど全部が全部残食がないってというようなことで、私たちのやってることは罪でしょうかどうでしょうかというようなことで裁判が繰り広げられました。市長と冷や冷やして見ていましたけれど、最後には無罪ということでした。何よりもあなたたちがこれからどんどん啓発することが大事だということで落ち着き、市長もうれしそうに、よかったですねと言って感想を述べておられました。その後、あなたたちはCOOL CHOICEアンバサダーに認定するので、広くいろんな人、同じ学校の後輩の子どもたちはもちろんのこと、家族の方、

いろいろな人に学んだことを思いも含めて伝えてほしいということで終わったところでございます。

最後、3つ目ですが、先日12月16日、全国高等学校サッカー選手権大会に出場されます明誠高等学校のサッカー部の皆さんが市長を表敬訪問されまして、今度の大会への決意を述べられたというところに一緒に参加してきました。かつて益田市は全国大会にもたくさん出場してきたところですが、今は立正大学湊南高校とそれから大社高校が県内2強ということで、常にその2チームが選手権大会あるいはインターハイの決勝戦に顔を出すようなことだったのですが、今年度は益田東高校と明誠高校が益田の県立サッカー場で決勝戦として戦ったところであります。明誠高校の監督やキャプテンの話を聞くと、インターハイやいろんな大会で常に自分たちがはね返されたのは益田東高校だったんだそうです。益田東高校に勝つことをまず第一目標にしながら、予選で大社高校にPK戦で勝ち、益田東高校は立正大湊南高校に勝ち、決勝戦で益田ダービーを行ったということでした。決勝戦は今まで1度も勝てたことのない益田東高校を5対1という大差で破り、不屈という言葉チームの合い言葉にしていたけど、本当に不屈の闘志でできました、だから、全国大会では激戦区の愛知県を勝ち上がった愛工大名電高校とやるけれど、不屈の闘志で、明誠らしいサッカーで楽しんでまいります、ということをお話いただきました。皆さんで頑張ってくださいという激励をしたということです。

この間の私の大まかな公務につきまして以上となります。

委員の皆さんにおかれましては、詳しくお聞きになりたい点とかがありましたら併せてお話ししますが、よろしいでしょうか。

教育委員

＝全員了承＝

領家教育長

それでは続きまして、11月にいただいた寄附と寄贈について紹介させていただきますので、次のページをご覧ください。

次のページをご覧ください。

いただいたのは1団体1件でございます。古本よみの市実行委員会様から奨学金にということで現金をいただきました。皆さんご承知かもしれませんが、この古本よみの市実行委員会というのは退職公務員連合ですとか退職校長会の皆さん方を中心にしながら、市の教育委員会や様々な団体に関わって、11月の前半に1週間ばかり市民の皆さんから使わなくなった古本を集めさせていただいて、それぞれに分類をして、11月の土日の2日間、必要なものは持って帰ってくださいということで、市民学習センター

でバザーを開いておられます。市民の皆さんにも好評をいただき、移住されてきた方の中には、益田にはこんな文化もあるんですねってびっくりされたり、これからファンになって毎年来ますという方もいらっしゃるようなところです。そうした中で、バザーとして集めていただいたお金について、奨学金にということでもいただいたものでございますので、ご報告させていただきます。

第3 議題

議第18号

教育財産（益田運動公園陸上競技場写真判定装置一式）の取得について

領家教育長

続きまして、議事日程第3、議題に移らせていただきます。

本日の議題ですが、議事案件が1件、報告案件が3件となります。

それでは、議第18号 教育財産（益田運動公園陸上競技場写真判定装置一式）の取得について事務局より説明を求めます。

岡崎課長

それでは、説明します。

1枚めくっていただきますと関係資料がありますが、益田運動公園は第2種の公認陸上競技場ですが、今の写真判定装置が10年以上経過しており、更新時期を迎えていることから議題として上げているところでございます。

品名としては2番のところに書いてありますが、スリットビデオシステム一式というのは、高いところから狙うカメラです。それから、IDカメラ一式というのは、これは内側から写すカメラで、外と中から同時に写しながら決勝順位を判定することになっています。それと、3つ目が電動リモートの雲台ということで1台です。このセットが一式で写真判定装置の一式ということになります。

一般競争入札で入札をさせていただき、現在、取得金額として1,243万円ということで応札をいただいております。財源としては、ご覧のスポーツくじ、それから地域振興基金を活用しております。契約相手方は、地元のサッカー&テニスショップのヨセフということになっております。

議決後に、正式に取得に移り、年内には設置する予定です。

説明については以上でございます。

領家教育長

ただいまの件につきまして、ご質問等がありましたらお願いいたしますが、よろしいでしょうか。

教育委員

＝全員了承＝

領家教育長 それでは、採決に移らせていただきます。
 本件につきまして賛成の方、挙手をお願いいたします。
教育委員 = 挙手全員 =
領家教育長 ありがとうございます。賛成多数のため、本件は承認されました。では、事務局は必要な手続を進めてください。

報第50号 赤色立体地図の寄贈について

領家教育長 続きまして、報第50号赤色立体地図の寄贈について事務局より説明をお願いします。

田中課長 それでは赤色立体地図の寄贈についてご報告申し上げます。

この赤色立体地図につきましては、全国山城サミット益田大会で既にご披露しているところでございますけども、寄贈者としては日本遺産を応援する益田市民会議の溝口様、それからアジア航測株式会社代表取締役の畠山様から寄贈をいただいております。寄贈されたものは、赤色立体地図ということで、金額としては600万円相当いたします。負担の割合としましては、日本遺産を応援する益田市民会議が90万円、それからアジア航測が510万円ということになっております。これに関しまして表彰の関係でありますけども、金額が300万円以上ということがありますので、益田市の表彰規則の取扱要綱第2項に該当するということで、来年度の市政功労の表彰へ内申していくという予定にしております。

実際の寄贈された地図につきましては、電子データということでありますけども、今後、益田市立歴史文化交流館れきしーなで展示、あるいは小・中学校の出前講座等で使っていきたいというふうにしております。

実際にもらったものとしてはもっと大きい地図があるんですが、今日はこちらを持ってきております。レーザー光線を使って測量しておりますので、ここが七尾城なんですけども、ここに新しく山城があるのが分かったということです。横野城跡ということで、豊川小学校の北部の山にあるものです。普段は木があって見えないと思うんですけども、いただいた図では大きく拡大すると凹凸の地形もよく見えるようになっております。この模型は、3Dプリンターでそのデータを加工したものですけども、色が白で分かりにくいので、今後色付けをしてみようかなと思っています。千田先生は、目の見えない人でも模型を触ることによって山の形とか起伏を感じることができるので、こういったものもい

いんじゃないかということをおっしゃっていました。こちらが実際に復元された絵なんですけども、一緒に見るとまたこの辺りに昔こういう建物があったというのがよく分かると思います。またお時間があれば見ていただきたらと思います。

領家教育長

れきしーなで展示をする予定になっているそうです。

ただいま説明しましたことにつきましてご質問等ありましたら伺いますが、いかがでしょうか

齋藤委員

展示品は管理が重要ですが、これは湿気でひびが入るとかそういう心配は一切ないのでしょうか。

田中課長

この模型はプラスチックですので大丈夫です。

領家教育長

そのほかよろしいでしょうか。

教育委員

＝全員了承＝

報第51号 第567回益田市議会定例会一般質問について

領家教育長

続きまして、第567回益田市議会定例会一般質問について事務局より説明をお願いします。

長嶺部長

12月の定例市議会が今週の月曜日に閉会をしたという状況です。今回の議会では教育行政について6名の方がご質問をされましたので、内容について報告をさせていただきます。

まず、お一人目、寺井良徳議員さんです。小・中学校のエアコンの整備状況、特別教室や体育館へエアコンを設置すべきじゃないかというような内容でした。

1問目として、エアコンの設置事業ですが、体育館の設置についてどう考えておられるかという内容です。これは市長が答弁した内容になっておりますが、学校には体育館へのエアコン設置をはじめ、いろんな施設の改修があるという中で、まずは学校のトイレの洋便器化を優先していきたいと回答しております。トイレの洋便器化は、全国では68.3%、島根県では48.8%、益田市では45.3%という状況です。

続いて、普通教室のエアコン設置はどんな状況ですかというご質問ですが、普通教室は100%エアコンが入っております。

特別教室のエアコン設置はどのような状況ですかというご質問ですが、本年度、各校最低限2基は入れるということで設置をしております。特別教室全体では43.1%ですが、実はこの43.1%の母数の中には理科準備室や家庭科準備室というものも含まれていますので、こういったものは除いて、本当に教室として使う特別教室の設置状況は、設置率は60.1%になっていま

す。

ついてないところはどのようにするのかという部分ですが、先ほど同様、トイレの洋式化をまず優先していますということで回答しております。ただ、児童・生徒数が多い大規模校についてはどのようにやっていくか、2つの教室に続いて協議しながら検討していきたいと答えています。

体育館はどういう状況ですかというご質問ですが、体育館は全国的にも18.9%、島根県では3.5%、益田市では大型冷風機が入っているところがありますので、全体では11.1%の設置状況になっております。ただ、エアコンということになると、学校の体育館には設置しておりません。

避難所となったときにどうするのかという部分もありますが、学校施設全体を避難所として活用していただけるので、状況に応じて普通教室や特別教室、そういったところで避難をするということも考えられますという答弁をしております。

一刻も早くやってほしいという話ではありますが、繰り返しにはなりますが、トイレの洋式化を優先しますということと、特別教室は引き続いて検討していきますということを答えております。

次に須藤一二三議員さんです。

西益田の拠点整備事業、これは分かりやすく言うと西益田の公民館を造るという話ですが、平成28年に市議会に対して請願書が出ました。西益田地区多目的交流センターの早期建設ということで請願書が出て、議会はこれを採択しました。その後、何回か市長宛てに要望が出てきてはいたのですが、市としてはまず学校の改修というものを優先して進めておりました。ところが、一定の目途がついたので、期成同盟会とも協議を図りながら今年度予算化をしています。予算化して今日までできているのですが、地元は旧サン電子跡地、ここに造ってほしいという内容です。しかしながら、益田市は学校を核とした地域づくりというメインテーマを掲げていますので、小学校あるいは横田中学校の中に学校と隣接する形で、学校の開いた教室も使いながら一体的な運営をしていきたいということで、今、案を提示しているという状況です。

次の質問では、どこに建てるか協議が整っていないと聞いているがという内容です。市としては、まずはこの基本指針に書いてある学校を核とした地域づくりということがあり、中学校では生徒たちが成長する取組として公民館と一緒に多世代との交流や灯火祭といったものを行っているということからも、横田中

学校で造っていただきたいということを答弁しております。また、学校が地域の交流や各種活動の拠点、あるいは防災拠点、多様な公共機能を有する場ということと、公共施設等総合管理計画の中で既存施設の多機能化、集約化、複合化というものもうたっております。市としてはそういった考え方ですので、今、平行線という状況です。今後どうするのかという部分ですが、市の方向性をご理解いただけるように努力していきたいと答えております。今年度の予算をぜひ執行してほしいという部分ですが、今年度、基本設計の予算がついているのですが、他の地区では基本設計を完了するのに9か月かかっています。今現在どこに建てるかが決まっていない中で、この基本設計の業務の執行は難しいという状況になっているというところですが、そのものをやめるということは今の段階では考えていませんというお答えをしているという状況です。いろんな人の意見を聞いてほしいという部分はあるのですが、候補地が決定すれば期成同盟会が検討してきたプランも生かしながら、いろんな人から意見を聞いて進めていきたいとお答えをしているという状況です。

続きまして、平原議員さんです。

学力と経済格差という内容のご質問でした。まずは、益田市の学力についてどうかという部分です。これについては、全国学力・学習状況調査の状況を答えています。学力向上に向けての取組としてこの間、取り組んできたことを主に答えております。特に今年度から授業改善の方策として、先日、教育委員の皆さんにも西益田小学校で見ていただいた「気付きと対話」のある授業づくりに取り組んでいますという回答をしています。また1人1台端末の活用ということ、それから小規模学校同士のオンライン合同授業ということ、益田市型中高一貫教育の算数・数学パワーアップ教室など、そういったことを紹介して、学びに向かう力の醸成につながっていると考えていますと答えております。

それから、益田市の就学援助率についてどのくらいかというご質問です。準要保護認定児童数は全体の22.9%、要保護認定児童数は0.5%、合計23.4%が小学校です。中学校は、合計は24.4%で、ほぼ4分の1が就学援助をしているという状況です。それから、運動面と経済格差について、どういう状況ですかというご質問ですが、握力に始まって立ち幅跳びまで、それから小学校ではソフトボール投げまでの8種目ある体力テスト、中学校ではハンドボールと持久走を加えた9種目をやっています。県平均と比較すると、おおむね平均並で、よく頑張っている

のは、上体起こしでや持久力を測るシャトルランですという紹介もしているという状況です。

子どもの貧困対策というものに対して益田市はどのように考えていますかというご質問で、福祉に関わる部分がありますので福祉環境部の次長が答弁も重ねておりますが、保育料の無償については今現在取り組んでいるもの以上をやることはございませんということを答えております。保育園の給食費についても、さらなる軽減ということは考えておりませんということ、医療費についても、現時点で新しいことは考えておりませんということ、おむつについても同様ですということで、なかなか新しいことを今やるという状況にはありませんということと、学校の給食費については私が答えましたが、給食費を無償化するということは考えておりませんと回答しております。

続いて、河野議員さんからです。

まずは、ひきこもり、不登校支援の現状と今後の展開ということで、不登校支援の現状、不登校の推移についてのご質問です。不登校は、ご存じのように年間30日以上欠席がある児童生徒を数字でお示しをしました。令和元年度は小学生24人、中学生45人、令和5年度、小学生が59人、中学生が64人ということで増加傾向にあるという状況です。主な要因は、正確なところは分かりませんが、学校として把握した事実として割合が多かったものからいくと、学校生活に対してやる気が出ない、それから生活リズムが不調であるということ、それから親子の関わり方に起因しているのではないかというのが多かった要因ということです。それから、子ども・若者支援センターの利用状況、特徴的な点についてということをお聞きになりました。利用者数は、令和元年度と令和5年度の比較でいくと、元年度2,580人が令和5年度1,652人で、36%減少しています。ただし、その中であっても小学生が81.3%増えています。中学生は56.6%の減、高校生は98.9%の減というような形で、小学生が著しく増加しているというのが特徴的です。

続いて、相談の内容という部分でいくと、不登校に対する相談が52.4%、発達・精神障がいに関するものが13.1%、コミュニケーションに関するものが11.7%という状況だと報告しています。

こういうものを踏まえて、学びの多様化学校というものを設置する研究を始めてはどうかというご質問でした。学びの多様化学校の紹介をさせてもらっていますが、不登校児童・生徒の実態に

配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する必要があると認められる場合、特定の学校において教育課程の基準によらずに特別の教育課程を編成することができる学校ということです。現時点ではこういった組織的な研究は行っていないですが、県教育委員会とはいろんな情報交換を行っていますということ、益田市としては、教育支援センターふれあい学級や心のかけはし、子ども・若者支援センターも含めてですが、そういったところを強化充実していきたいというふうに答えている状況です。

それから、地域づくりにおける公民館の役割、地域の支援体制という部分です。公民館の役割をどのように考えているかというご質問でした。ここについては、公民館の在り方についての指針を3点掲げておりますので、これを紹介しております。公民館によって違いはあるにしても、それぞれ一生懸命取り組んでいますというようなことを答弁しております。

それから、地域自治組織の運営における公民館の役割についてどのように考えているかという部分です。公民館は社会教育の拠点であるということ、加えて益田市では子どもを中心とした活動を展開していること、そこに多くの大人も巻き込んだ活動を行うということで、公民館活動への参加者数は大きく増えているということを紹介して、自治組織はこうした活動に参加した大人を地域活動の担い手として自治組織の活動に巻き込んでいくように取り組んでいるという状況を紹介しております。公民館は、その活動によって持続可能な地域活動に結びつけるための担い手の発掘並びに育成などの役割も期待されているというふうに思っていますと答えております。

それから、コミュニティ・スクールを運営する上での公民館の役割という部分ですが、子どもたちが学校で学んだことを地域で実践できるように、地域での大人との関わりを学校での学習に生かせるように、つろうて子育て協議会では子どもを中心とした活動もしています。コミュニティ・スクールには社会教育コーディネーターというものを配置して、子どもたちを中心とした学校と地域をつなぐ業務を展開しておりますということも紹介しております。

コミュニティ・スクールが進んでいないのはどういう状況ですかというご質問ですが、コミュニティ・スクールになったら社会教育コーディネーターを配置するのですが、戸田小と匹見小・中は今空席になっており配置ができていません。また、来年度から桂平小は学校運営協議会を設置してコミュニティ・スクールにな

るという運びでいるという状況を紹介しております。

公民館活動がうまくいっている地域を参考にしながら進めていくべきだという質問もありました。ここで、西益田小学校の運営協議会と西益田地区のつろうて子育て協議会の取組が文部科学大臣表彰の被表彰候補団体として推薦されているということも紹介させてもらいました。受賞となれば豊川地区に続いて2年ぶり、ということも紹介をしているという状況です。

それから、弥重節子議員さんからです。

山城サミットの成果についてという部分をお聞きになられたので、市長に答えていただきました。健康ウォークなどの山城ラリー、それから歴史文化交流館での特別展、10月7日にれきし一なで行った出陣式、10月27日の七尾城跡での大のぼり掲揚、それから七尾城跡及び四ツ山城跡でののろしの事業、11月15日には観光協会主催の下での萬福寺の宴といういろんな事業を行ってきました。さらには津和野城築城700年記念シンポジウムと連携しながら開催いただいたということも含めて、11月16日、17日に山城サミットを開催いたしました。16日には1,500人の方にご来場いただきました。先ほどの赤色立体地図なども紹介をして講演をいただき、17日には述べ約8,000人に中世ビッグフェスタに来ていただきました。両日とも約半数が市外から来たということで、一定の成果があったということをお答えをしております。

益田東中学校、益田小学校での取組になりますが、原田委員にもご協力いただいて人に伝わる話し方を生徒が学んで、万福寺などでガイドを務めたということも改めて報告をさせていただきました。いろんな学校でいろんな取組をして、子どもたちにとってはふるさとの良さや課題に気づいて、自らの行動を考え、他者への感謝の気持ちを持ち、ふるさとを創生しようとする子どもを育てていきたいということで、こういった取組も行ってきたということを紹介しております。

次に中世益田を象徴する三宅御土居跡と七尾城跡、これらを整備する計画の進捗状況についてということでご質問がありました。この質問は何回かあったので内容はお読み取りいただきたいのですが、進捗状況としては全体的には遅れております。そういう中で、今後、今まで遅れてきた部分を含めて、今現在の計画の見直しに着手していきたいということを答えているという状況がございます。ほかにもまだ質問はたくさんあったのですが、ここで時間が切れましたので続きは3月だということです。

続いて、阿知波議員さんから山城サミットの成果ということでご質問がありました。ここは同じ内容なのでお読み取りいただけたらというふうに思います。教育委員会としてこうした成果をどうしていくかという部分もほとんど同じ内容ですので、お読み取りいただけたらというふうに思います。次の児童・生徒の郷土愛を育むことに生かすことはできないかというのもほとんど同じようになっていますので、お読み取りください。

それから、児童・生徒の環境整備という部分、冬に向けてどのような対策を取っていくのかという部分の質問です。普通教室や特別教室のうち2部屋にはエアコンがあるということと、ない体育館や特別教室についてはストーブ、ブルーヒーターやファンヒーターでやっていますということを回答しております。エネルギー価格も上がってくるのですが、学校現場と調整しながら教育環境に影響が出ないように進めますという回答をしたという状況です。簡単ですが、以上です。

領家教育長

ありがとうございました。

ただいま説明した件についてご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

教育委員

＝全員了承＝

報第52号 令和6年度12月益田市一般会計補正予算について

領家教育長

続きまして、令和6年度12月益田市一般会計補正予算について事務局より説明を求めます。

齋藤課長

12月議会に一般会計補正予算を計上し議決いただいております。その教育に関わる概要に関しまして、補正内容、事業等をまとめたものがございます。詳細は概要書を掲示しておりますが、まとめたものでご説明させていただきます。教育委員会は教育総務課、それから学校教育課、協働のひとづくり推進課、3課から提出をしているという状況です。

教育総務課になります。番号は47番と49番、これは小学校費の学校維持管理費と中学校費の学校維持管理費ということになります。

47番に関しましては、学校施設に関わる緊急修繕等に関わる経費ということです。やはり老朽化もありますが、この間、夏場等におきましてはやっぱりエアコン等の空調機器もかなり酷使してきた現状がございました。そういったところでの修繕に係る経費等々が積もったというところで、経費の総額を補正で上げてい

るところです。

もう一つ、小学校につきましては吉田小学校の特別支援学級の開設というところ。来年度に向けて、吉田小学校に病弱の子が1人入るところで、これに関わる教室にアコーディオンカーテンを設置し、間仕切りができるようにする経費を計上しております。

続いて、49番が中学校費の学校維持管理費です。こちらも同じように学校施設に関わる緊急修繕に要する経費の増額を行っています。消防施設等の部分でのホース等々の修繕、そういったものの経費の増額でございます。

あわせて、これも来年度に向けてでございますが、中西中学校の特別支援学級に生徒さんが1人入るということで、これに関わる開設の経費といたしまして、これも間仕切り壁、それからその空間に空調機を設置するという経費、これらを見込んで補正予算を計上しているという状況でございます。

教育総務課は以上になります。

田原課長

学校教育課です。3つの事業について補正をしております。

46番のいじめ・不登校等対策推進事業費につきましては、スクールソーシャルワーカーの相談時間の増加に伴って増額補正を行っています。

続いて、48番、それから50番ですけども、特別支援教育対策費といたしまして、令和6年度並びに令和7年度に特別支援学級の新設並びに増設の予定に伴います必要な備品等の経費を増額しているところでございます。補正額につきましてはお読み取りください。以上です。

岡崎課長

続いて、協働のひとづくり推進課です。

51番、子ども支援センター事業費については、警察からの受託として再非行防止事業というのが0円となっておりますけども、これは収入が増えておりまして、事業費としては変わっていないということで予算補正をしております。

52番の未来の担い手育成事業費についてはマイナス60万円ということで、これについては高校魅力化コンソーシアムというのが、今までは益田市未来の担い手育成コンソーシアムが受皿になっていたんですけども、新たに県立高校の魅力化コンソーシアムが立ち上がりますので、そちらに予算をつけるということで事務費を減額しているところでございます。

あと、学習センター、公民館、図書館、保健体育の関係についてですけども、公園、ひだまりパークも含めて全て修繕費等の内

容になっておりますので、所要のものを直したということ等が主な原因であります。

それから、56番については高等学校の野球の試合で益田市長杯が第100回を迎えるということで、その優勝旗及び準優勝杯がかなりくたびれたものになっておりますので、買換えということで計上しております。簡単ですが、以上でございます。

領家教育長

ありがとうございました。

ただいま説明した件についてご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

領家教育長

最後となりますが、12月25日をもって大庭委員が任期満了により退任されます。本日まで教育委員を務められました大庭委員よりご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

大庭委員

失礼します。私は令和2年12月26日に辞令を山本市長にいただきました。就任当初、教育委員のイメージとしては、現職の時代から思っていたんですけども、小・中校長会へ出たり、それから学校現場では最も大事な入学式とか卒業式、そういったものに出席していわゆる告辞等を行うというような、そういったイメージでございました。それから、定例教育委員会が月1回あるんですけども、当初、紙媒体資料で、これが郵便とか、それからあるいは直接教育委員会の職員の方が私の家に来ていただいて、封書に入ったものを渡していただくというような、そういったことがありまして、これから4年間、こういう形で進むんだろうなと思ってた矢先に、いわゆる世界的流行であります新型コロナウイルス感染症の大流行が入ってまいりまして、そういった中で対面での定例教育委員会が困難になってきました。結局、自分には関係ないとずっと思っていたリモート会議が最も自分に関係するものになってきて、リモート会議が始まりました。当初、会議の参加の操作の仕方、こういったものの事前確認とか、それから実際に入ってリモート会議を行うんですけども、やはり画面がフリーズしたり、それから音声が途切れたりということで、本当に四苦八苦する中で、皆様方のご苦勞な中で会議が進められた記憶がございます。ところが、途中から、ちょうど原田委員さんが就任された頃にiPadをいただいて、非常にネット環境がよくなりまして、そんな問題も解消されました。そうした中で、結局

これまで紙だったものがいわゆる電子媒体になったので、気づいたことも書けないですし、最初はどうか何とか思いながら、四苦八苦ししながら何とか慣れてやっていくことができました。そして、併せていろんな連絡が、いわゆるLINEグループを組んで連絡が入ってくるということで、本当にいろんな環境が、コロナ以前とコロナ後では教育委員の立場において随分変わったなということをお思いながら、この4年間を過ごさせていただきました。

定例教育委員会では、審議とか協議とか報告等の多種多様な資料について目を通し、率直に感じたことや思ったことについて意見や感想を述べさせていただきました。そうした中で、教育委員会の職員の皆様方の本当に多くの苦労とか、それから努力、そういったものをひしひしと感ずることができました。一方、私としては大変的外れなことを言ったりして随分ご迷惑をかけたのではないかなということも危惧しております。この場をお借りしましてお詫び申し上げたいと思います。どうも本当にお世話になりました。

とにかくあっという間の4年間でありました。3名の教育長さんがこの4年間に就任されまして、柳井前々教育長さんとは3か月間、それから高市前教育長さんとは丸3年間、そして現領家教育長さんとは9か月間でした。本当に大変お世話になりました。コロナあり、デジタルツールの導入あり、様々な変化の中の4年間でありました。私自身、非常によい刺激を受けて、自己研鑽を積むことが本当にできたように思います。多くの人との出会いもあり、大きな収穫を得ることもできました。今こうして皆様方とこの場にいること、そして教育委員会のメンバーの一人であることをとても誇りに思っています。このようなよい機会を与えていただいた山本市長様、そして教育委員会の皆様方に大変感謝申し上げます。本当にありがとうございました。お世話になりました。

領家教育長

本当に山あり谷あり、コロナもあり、激動の4年間でしたが、大庭委員の思いの込められたご挨拶、そして我々教育委員に次なる示唆を与えていただいて有り難いなと思って聞かせていただきました。どうもありがとうございました。大庭委員におかれましては、健康にご留意いただきまして、今後ますますのご活躍をここにいる全ての者で祈念をさせていただきたいというふうに思っております。

なお、後任につきましては、森脇達也さんという方が就任されることになりました。次回1月の定例会においてご挨拶をいただ

く予定となっておりますので、ご紹介をさせていただきます。

それでは、本日予定しておりました議事全てが終了いたしました。これをもちまして第935回益田市教育委員会定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

＝終了時間 17時30分＝